



2019年5月7日

各 位

会 社 名 アピックヤマダ株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 押森 広仁  
 (コード番号 6300 東証第二部)  
 問合せ先 取締役企画部長 小出 篤  
 (TEL. 026-275-2111)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2019年2月12日に公表した2019年3月期(2018年4月1日～2019年3月31日)の通期業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

## 1. 連結

2019年3月期 通期業績予想数値の修正(2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,000	△ 440	△ 420	△ 460	△ 37.04
今回修正予想(B)	9,192	△ 673	△ 681	△ 733	△ 59.07
増減額(B-A)	△ 808	△ 233	△ 261	△ 273	
増減率(%)	△ 8.1	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2018年3月期)	12,665	292	248	46	3.72

## 2. 個別

2019年3月期 通期業績予想数値の修正(2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,550	△ 550	△ 530	△ 600	△ 48.31
今回修正予想(B)	7,596	△ 807	△ 794	△ 875	△ 70.47
増減額(B-A)	△ 954	△ 257	△ 264	△ 275	
増減率(%)	△ 11.2	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2018年3月期)	11,006	136	142	42	3.42

## 修正の理由

半導体価格の下落と米中貿易戦争の長期化懸念による先行きに対する不透明感が解消せず、2019年2月12日の通期業績予想公表時に見込んでいた2月、3月の売上のうち10先以上の海外の取引先で、合計約10億円強が新ラインの稼動が4月以降に延期となる等の客先都合により、売上計上時期が4月以降にずれ込むこととなりました。

当社は売上計上基準を検収基準においているため、前記の案件の多くは出荷済ですが、取引先のライン稼動計画の延期等の理由により検収を受けられず売上に計上ができておりません。このため、売上・利益とも前回予想から下回る見込みとなりました。

以上により、通期の連結及び個別の業績予想を修正いたします。

(注) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以上